



2026年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年8月13日

上場会社名 チャットプラス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 598A URL <https://chatplus.jp/corporate/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大江 繭子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0兼管理部長 (氏名) 森下 俊光 (TEL) 050-8882-5558
 定時株主総会開催予定日 2026年9月29日 配当支払開始予定日 2026年9月11日
 有価証券報告書提出予定日 2026年9月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期の業績(2025年7月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	1,221	19.5	529	43.4	524	42.2	346	40.9
2025年6月期	1,021	36.3	369	128.8	369	127.8	246	133.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年6月期	86.67	—	59.2	46.2	43.4
2025年6月期	61.51	—	81.6	46.4	36.2

(参考) 持分法投資損益 2026年6月期 ー百万円 2025年6月期 ー百万円

(注) 1. 当社は、2025年12月8日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、上記では前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価を把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	1,318	753	57.2	188.35
2025年6月期	953	418	43.9	104.68

(参考) 自己資本 2026年6月期 753百万円 2025年6月期 418百万円

(注) 当社は、2025年12月8日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、上記では前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	415	△35	△38	1,030
2025年6月期	409	△10	△85	689

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年6月期	—	0.00	—	600.00	600.00	12	4.9	4.0
2026年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00	12	3.5	2.0
2027年6月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00		12.1	

(注) 2027年6月期(予想)については、2026年7月14日の新株式の発行及び2026年8月13日のオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資の影響を考慮しています。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」及び添付資料13ページ「重要な後発事象」をご参照ください。

3. 2027年6月期の業績予想(2026年7月1日～2027年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	1,369	12.1	556	5.0	556	5.9	359	3.6	75.12

(注) 2027年6月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益については、2026年7月14日の新株式の発行及び2026年8月13日のオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資の影響を考慮しています。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」及び添付資料13ページ「重要な後発事象」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期	4,000,000株	2025年6月期	4,000,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期	一株	2025年6月期	一株
③ 期中平均株式数	2026年6月期	4,000,000株	2025年6月期	4,000,000株

(注) 2025年12月8日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。このため、2025年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 当社は、2026年7月15日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2026年6月11日及び2026年6月25日開催の取締役会において、添付資料13ページ「重要な後発事象」に記載のとおり新株式の発行を決議し、2026年7月14日に払込が完了いたしました。
- 当社は、2026年7月15日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2026年6月11日及び2026年6月25日開催の取締役会において、添付資料13ページ「重要な後発事象」に記載のとおり、丸三証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を決議し、2026年8月13日に払込が完了いたしました。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、地政学的リスクや円安に伴うエネルギー資源・原材料価格の上昇、米国の政策動向、人手不足等の懸念が継続したものの、好調な企業業績や賃上げによる所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

一方、生成AIをはじめとする先端技術が社会や経済活動に与える影響への関心が高まる中、企業においては、生産性の向上や人手不足への対応を目的としたDXの推進が進展しております。また、カスタマーサポート機能の高度化、自然言語処理技術の進歩及び生成AIとの連携拡大を背景として、チャットボットの導入が進んでおります。

このような状況のもと、当社は、「コミュニケーションによる感動を最大限に追求し、AIを駆使した全自動社会を最速で実現する」というミッションを掲げ、企業が抱える人手不足や、Webサイト訪問者及び従業員から寄せられる多様な問い合わせに迅速かつ的確に対応するニーズに応えるべく、チャットボットシステム及びFAQシステムを提供してまいりました。

その結果、当事業年度の売上高は1,221,129千円(前期比19.5%増)、営業利益は529,660千円(前期比43.4%増)、経常利益は524,973千円(前期比42.2%増)、当期純利益は346,688千円(前期比40.9%増)となりました。

なお、当社はSaaSソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(売上高)

当社のチャットボットシステムは、従来のシナリオ型・ルールベース型に加え、生成AIを活用した生成AI型チャットボットを提供していましたが、当事業年度において、複数のAIエージェントを設定できる「AI AgentPlus」へリニューアルいたしました。これにより、AIに役割や専門性を付与し、設定・対応・改善までをAIが高度に支援することで、多様な顧客ニーズへの対応を実現しております。

また、FAQシステム「FAQPlus」についてもリニューアルを実施し、FAQ記事の作成・更新の自動化を進めるとともに、「AI AgentPlus」との連携を可能としました。これにより、「FAQPlus」と「AI AgentPlus」のナレッジを一元管理できる環境を構築し、運用負荷の軽減を実現するとともに、クロスセル推進及び解約率の改善に取り組んでおります。

加えて、顧客企業からの要望を踏まえたチャットボットシステムの機能改善及びセキュリティ強化を継続的に実施し、サービスの付加価値及び信頼性の向上に努めてまいりました。

従来のシナリオ型チャットボットは、あらかじめ設定した会話シナリオに沿って対応するため、利用者の質問意図と一致せず、目的の情報にたどり着けない場合があるという課題がありました。一方、「AI AgentPlus」は、利用者の質問意図を理解した柔軟な対応が可能であり、その利便性の高さを背景として導入が進んでおります。

また、生成AI活用に対する市場全体の関心の高まりを追い風として、展示会及びWebマーケティングによる販売活動に加え、無料トライアル及びオンボーディングを通じて得られた顧客のフィードバックを開発へ迅速に反映し、回答精度及びユーザビリティの向上に取り組んでまいりました。

その結果、当事業年度の売上高は1,221,129千円(前期比19.5%増)となり、2026年6月末時点のARR(注)は1,214百万円(前期比12.7%増)となりました。なお、サービス別のARR及びアカウント数の推移は、以下のとおりであります。

(注) ARR: Annual Recurring Revenueの略で、SaaSなどサブスクリプション型ビジネスにおいて継続的に得られる年間収益を言い、算式はチャットボットシステム及びFAQシステムのオプション料含む月額利用料金(年契約の場合は年契約金額÷12)の合計×12)

サービス別ARRの推移

(単位：百万円)

	2025年 6 月期				2026年 6 月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
ChatPlus	660	676	689	707	719	677	661	637
AI AgentPlus	193	265	313	346	417	462	498	534
FAQPlus	9	14	19	24	28	31	38	42
ARR合計	864	956	1,022	1,077	1,165	1,171	1,198	1,214

サービス別アカウント数の推移

(単位：件)

	2025年 6 月期				2026年 6 月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
ChatPlus	2,227	2,230	2,170	2,182	2,172	2,128	2,037	1,991
AI AgentPlus	84	108	128	136	161	175	197	211
FAQPlus	4	6	8	10	12	12	15	18
合計	2,315	2,344	2,306	2,328	2,345	2,315	2,249	2,220

(注) 複数サービスを利用している場合は、サービスごとにカウントしています。

「ChatPlus」については、主に下位プランの減少により、合計の件数は減少しています。一方、「AI AgentPlus」、「FAQPlus」の増加により、ARRは毎期増加傾向にあります。

サービス別ARPA(注)の推移

(単位：千円)

	2025年 6 月期				2026年 6 月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
ChatPlus	296	303	317	324	331	318	325	320
AI AgentPlus	2,306	2,457	2,452	2,549	2,592	2,643	2,528	2,533
FAQPlus	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,600	2,605	2,360
平均	373	408	443	463	496	505	532	547

(注) アカウントあたりの年間収益(ARR ÷ アカウント数)

1 アカウントあたりの年間収益が高い「AI AgentPlus」及び「FAQPlus」の件数の増加に伴い、ARPA合計が上昇しております。

Churnレート(注)の推移

	2025年 6 月期				2026年 6 月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
Churnレート	2.0%	1.8%	1.9%	1.8%	1.8%	1.8%	1.9%	2.1%

(注) 四半期最終月の直近12ヶ月平均の月次Churnレート

月次Churnレート＝当月解約件数÷(前月アカウント数合計＋当月新規契約件数)

(売上原価、売上総利益)

売上原価は303,673千円(前期比15.2%増)となりました。これは主に売上高・利用量の増加に伴うシステム利用料の増加及び機能強化・機能追加に係る外注費の増加によるものであります。この結果、売上総利益は917,456千円(前期比21.0%増)となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は387,796千円(前期比0.3%減)となりました。これは主に研究開発費が増加する一方で、のれん償却の終了等により販売費及び一般管理費が減少したことによるものであります。この結果、営業利益は529,660千円(前期比43.4%増)となりました。

(営業外収益、営業外費用、経常利益)

営業外収益は2,392千円(前期比45.5%増)となりました。これは主に受取利息の増加によるものであります。営業外費用は7,079千円(前期比262.7%増)となりました。これは主に為替差損及び上場関連費用の計上によるものであります。この結果、経常利益は524,973千円(前期比42.2%増)となりました。

(税引前当期純利益、当期純利益)

上記の結果、税引前当期純利益は524,973千円(前期比42.3%増)となりました。また、法人税等178,284千円を計上した結果、当期純利益は346,688千円(前期比40.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は1,116,746千円となり、前事業年度末に比べ354,634千円増加いたしました。これは主に当期純利益の計上により、現金及び預金が341,602千円増加したことによるものであります。当事業年度末における固定資産は201,475千円となり、前事業年度末に比べ9,793千円増加いたしました。これは、主に機能強化によりソフトウェアを29,819千円計上したものの、減価償却費を18,734千円計上したことによるものであります。

この結果、資産合計は1,318,222千円となり、前事業年度末に比べ364,427千円増加いたしました。

(負債)

当事業年度末における流動負債は507,727千円となり、前事業年度末に比べ44,981千円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が10,812千円減少したものの、契約負債が56,964千円増加したことによるものであります。当事業年度末における固定負債は57,099千円となり、前事業年度末に比べ15,242千円減少いたしました。これは主に長期借入金が15,984千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は564,827千円となり、前事業年度末に比べ29,738千円増加いたしました。

(純資産)

当事業年度末における純資産は753,394千円となり、前事業年度末に比べ334,688千円増加いたしました。これは配当金を12,000千円支払ったものの、当期純利益の計上により利益剰余金が334,688千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ341,602千円増加し、1,030,960千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは415,472千円の収入(前期は409,984千円の収入)となりました。主な要因は、税引前当期純利益524,973千円、減価償却費18,734千円、契約負債の増加56,964千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは35,065千円の支出(前期は10,060千円の支出)となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出33,480千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは38,805千円の支出(前期は85,221千円の支出)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出26,796千円、配当金の支払額12,000千円であります。

(4) 今後の見通し

2027年6月期におきましては、労働力不足を背景とした生産性向上ニーズの高まりやコミュニケーションツールの変化により、チャットボットシステムを提供する当社を取り巻く市場は、引き続き拡大するものと見込んでおります。

このような事業環境のもと、当社は、顧客企業及び市場のニーズに対応するため、「AI AgentPlus」の機能拡充を進めてまいります。具体的には、単なる問い合わせ対応にとどまらず、外部システムとの連携により、CRMの更新やメール送信等を自動で行い、業務プロセスの自動化を実現する新プランをリリースし、新規顧客の獲得及び「ChatPlus」「AI AgentPlus」の既存顧客に対するアップセルの強化に注力してまいります。

また、「FAQPlus」につきましては、「AI AgentPlus」との連携による管理コストの削減、FAQ記事作成の自動化及び価格競争力を訴求し、クロスセルを中心に販売拡大を図ってまいります。

加えて、従来、顧客企業のニーズに応じて個別に提供してきた開発業務を強化し、提供基盤を「ChatPlus」及び「AI AgentPlus」に統一したうえで、企画・構築から運用までを一貫して支援してまいります。これにより、開発業務によるフロー型収益の拡大と、保守料の積み上げによるストック型収益の拡大を図ります。

販売促進活動においては、展示会、レビューサイト及びWeb広告を活用し、認知度の向上に努めてまいります。さらに、顧客の要望を踏まえた継続的な機能強化に加え、2026年6月期から強化しているカスタマーサクセス活動についても、引き続き推進してまいります。これらの取り組みにより、チャットボットシステム及びFAQシステムの一層の成長を図ってまいります。

コスト面につきましては、インフラコスト及び生成AI API利用料の適正化を進め、収益性の維持・向上に努めてまいります。

以上により、2027年6月期の業績につきましては、売上高1,369百万円(前期比12.1%増)、営業利益556百万円(同5.0%増)、経常利益556百万円(同5.9%増)、当期純利益359百万円(同3.6%増)を見込んでおります。

なお、本業績予想は、現時点において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、今後の市場環境等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、経営成績、財務状況及び事業環境等を総合的に勘案し、企業価値向上につながる成長投資を優先しつつ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針としております。当社は、継続的に利益及びキャッシュ・フローを創出できる事業基盤を有しており、成長投資を阻害しない範囲かつ余剰キャッシュ・フローの範囲内において、その成果を株主の皆様へ適切に還元することが、資本市場からの信頼醸成及び中長期的な企業価値向上につながるものと考えております。

以上の方針に基づき、当期の期末配当金につきましては、1株当たり3円を予定しております。

また、次期の配当金につきましては、2026年7月15日の株式上場を契機として、株主還元のさらなる充実を図ることといたしました。今後の成長に必要な内部留保を確保しつつ、期末配当金を1株当たり9円とすることを予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内向けの事業が主であること、株主構成が国内中心であることから、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、海外への事業展開の状況や国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当事業年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	689,358	1,030,960
売掛金及び契約資産	49,569	61,416
仕掛品	243	90
前渡金	11,698	11,921
前払費用	10,877	12,151
その他	440	316
貸倒引当金	△74	△109
流動資産合計	762,112	1,116,746
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	63,711	63,711
減価償却累計額	△6,377	△10,881
建物附属設備（純額）	57,334	52,830
工具、器具及び備品	6,475	8,059
減価償却累計額	△3,085	△4,452
工具、器具及び備品（純額）	3,389	3,607
有形固定資産合計	60,723	56,437
無形固定資産		
特許権	170	128
商標権	296	224
ソフトウェア	30,493	47,563
ソフトウェア仮勘定	1,343	5,004
無形固定資産合計	32,304	52,920
投資その他の資産		
出資金	100	100
繰延税金資産	32,712	26,175
敷金	65,842	65,842
投資その他の資産合計	98,654	92,117
固定資産合計	191,682	201,475
資産合計	953,794	1,318,222

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当事業年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,040	31,854
短期借入金	14,999	14,990
1年内返済予定の長期借入金	26,796	15,984
未払金	18,020	15,756
未払費用	29,114	20,823
未払法人税等	106,630	109,167
契約負債	198,283	255,248
預り金	4,766	5,274
賞与引当金	3,552	5,893
役員賞与引当金	—	6,500
その他	32,543	26,235
流動負債合計	462,746	507,727
固定負債		
長期借入金	25,115	9,131
資産除去債務	47,227	47,968
固定負債合計	72,342	57,099
負債合計	535,089	564,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金		
利益準備金	1,200	2,400
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	407,505	740,994
利益剰余金合計	408,705	743,394
株主資本合計	418,705	753,394
純資産合計	418,705	753,394
負債純資産合計	953,794	1,318,222

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,021,723	1,221,129
売上原価	263,554	303,673
売上総利益	758,169	917,456
販売費及び一般管理費	388,786	387,796
営業利益	369,382	529,660
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	448	1,888
ポイント還元収入	1,194	309
その他	1	193
営業外収益合計	1,643	2,392
営業外費用		
支払利息	1,855	768
為替差損	—	1,730
上場関連費用	—	4,570
その他	96	10
営業外費用合計	1,952	7,079
経常利益	369,074	524,973
特別損失		
固定資産除却損	54	—
特別損失合計	54	—
税引前当期純利益	369,019	524,973
法人税、住民税及び事業税	123,450	171,746
法人税等調整額	△482	6,537
法人税等合計	122,968	178,284
当期純利益	246,051	346,688

売上原価明細書

		前事業年度 (自 2024年 7 月 1 日 至 2025年 6 月30日)		当事業年度 (自 2025年 7 月 1 日 至 2026年 6 月30日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費	※ 1	29,521	10.5	40,154	10.7
II 経費		251,806	89.5	333,568	89.3
当期総製造費用		281,327	100.0	373,723	100.0
仕掛品期首棚卸高		1,447		243	
合計		282,775		373,966	
仕掛品期末棚卸高	※ 2	243		90	
他勘定振替高		18,978		70,203	
売上原価		263,554		303,673	

(注) ※ 1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
システム利用料	175,068	190,206
外注費	45,282	82,053

※ 2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
ソフトウェア仮勘定	12,792	59,343
研究開発費	6,185	9,938

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、実際原価による個別原価計算を採用しております。

(3)株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本 合計	
		利益準備金	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
			繰越 利益剰余金			
当期首残高	10,000	—	174,654	174,654	184,654	184,654
当期変動額						
剰余金の配当			△12,000	△12,000	△12,000	△12,000
利益準備金の積立		1,200	△1,200	—	—	—
当期純利益			246,051	246,051	246,051	246,051
当期変動額合計	—	1,200	232,851	234,051	234,051	234,051
当期末残高	10,000	1,200	407,505	408,705	418,705	418,705

当事業年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本 合計	
		利益準備金	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
			繰越 利益剰余金			
当期首残高	10,000	1,200	407,505	408,705	418,705	418,705
当期変動額						
剰余金の配当			△12,000	△12,000	△12,000	△12,000
利益準備金の積立		1,200	△1,200	-	-	-
当期純利益			346,688	346,688	346,688	346,688
当期変動額合計	-	1,200	333,488	334,688	334,688	334,688
当期末残高	10,000	2,400	740,994	743,394	753,394	753,394

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	369,019	524,973
減価償却費	21,882	18,734
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,451	2,341
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	6,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18	35
受取利息及び受取配当金	△448	△1,888
支払利息	1,855	768
固定資産除却損	54	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,110	△11,846
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,204	152
前渡金の増減額 (△は増加)	2,516	△222
前払費用の増減額 (△は増加)	△2,197	△1,273
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,648	3,814
未払金の増減額 (△は減少)	3,873	△2,264
未払費用の増減額 (△は減少)	△12,267	△8,280
契約負債の増減額 (△は減少)	51,556	56,964
預り金の増減額 (△は減少)	△648	508
その他	16,674	△5,442
小計	442,085	583,573
利息及び配当金の受取額	448	1,888
利息の支払額	△1,962	△779
法人税等の支払額	△30,586	△169,210
営業活動によるキャッシュ・フロー	409,984	415,472
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△864	△1,584
無形固定資産の取得による支出	△9,195	△33,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,060	△35,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,000	20,000
短期借入金の返済による支出	△5,001	△20,009
長期借入金の返済による支出	△88,220	△26,796
配当金の支払額	△12,000	△12,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,221	△38,805
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	314,703	341,602
現金及び現金同等物の期首残高	374,655	689,358
現金及び現金同等物の期末残高	689,358	1,030,960

(5)財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、SaaSソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	104.68円	188.35円
1株当たり当期純利益	61.51円	86.67円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
2. 当社は、2025年12月8日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益」を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期純利益(千円)	246,051	346,688
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	246,051	346,688
普通株式の期中平均株式数(株)	4,000,000	4,000,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権6種類 (新株予約権の数2,807個)	新株予約権6種類 (新株予約権の数2,802個)

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	418,705	753,394
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	418,705	753,394
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	4,000,000	4,000,000

(重要な後発事象)

(一般募集による新株式の発行)

当社は、2026年7月15日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2026年6月11日及び2026年6月25日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2026年7月14日に払込が完了いたしました。

- ① 募集方法 : 一般募集(ブックビルディング方式による募集)
- ② 発行する株式の種類及び数 : 普通株式 650,000株
- ③ 発行価格 : 1株につき1,080円

一般募集はこの価格にて行いました。

- ④ 引受価額 : 1株につき993.6円
この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額であります。
なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

- ⑤ 資本組入額 : 1株につき496.8円
- ⑥ 発行価額の総額 : 702,000千円
- ⑦ 払込金額の総額 : 645,840千円
- ⑧ 資本組入額の総額 : 322,920千円
- ⑨ 払込期日 : 2026年7月14日
- ⑩ 資金の使途 : 機能強化・機能追加開発・新技術の研究開発、人材投資、販売促進活動

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2026年7月15日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2026年6月11日及び2026年6月25日開催の取締役会において、丸三証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を次のとおり決議し、2026年8月13日に払込が完了いたしました。

- ① 募集方法 : 第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出し)
- ② 発行する株式の種類及び数 : 普通株式 172,500株
- ③ 割当価格 : 1株につき993.6円
- ④ 資本組入額 : 1株につき496.8円
- ⑤ 割当価格の総額 : 171,396千円
- ⑥ 資本組入額の総額 : 85,698千円
- ⑦ 払込期日 : 2026年8月13日
- ⑧ 割当先 : 丸三証券株式会社
- ⑨ 資金の使途 : 「一般募集による新株式の発行 ⑩ 資金の使途」と同一であります。

(資本金の額の減少)

当社は、2026年8月13日開催の取締役会において、資本金の額の減少について2026年9月29日開催予定の第11期定時株主総会に付議することを決議いたしました。

1. 減資の目的

当社の現在の事業規模を踏まえ、今後の成長投資を含む資本政策の柔軟性及び機動性の確保並びに税制上の適切な対応を図ることを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額の減少を行うものであります。

2. 減資の要領

(1)減少する資本金の額

資本金の額のうち、408,618千円を減少いたします。

(2)減資の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額408,618千円の全額をその他資本剰余金へ振り替えることといたします。

3. 減資の日程

- | | |
|----------------|----------------|
| (1)取締役会決議日 | 2026年8月13日 |
| (2)債権者異議申述公告日 | 2026年8月17日(予定) |
| (3)債権者異議申述最終期日 | 2026年9月18日(予定) |
| (4)定時株主総会決議日 | 2026年9月29日(予定) |
| (5)減資の効力発生日 | 2026年9月30日(予定) |